

令和5年度東成区運営方針 課題別取組

課題1 安全で安心なまちづくり

【具体的取組1－1－1】 防災

令和5年度の取組状況

【業績目標】

区民アンケートにおいて、自宅で3日分以上の飲料水や食糧を備蓄している割合

(目標)	(実績)
50%以上	→ 49.3%

【取組実績】

- ・新しい生活様式を取り入れた避難所運営にかかる訓練や研修の実施：10 地域
- ・災害時要支援者の個別避難計画作成を新たに取り組んでいく地域：4 地域
- ・中学校における避難所運営マニュアルの策定と実践的な避難所運営訓練の実施：1 校・1 回
- ・災害時協力企業等登録制度にかかる協力要請：41 事業所
- ・LINE 公式アカウント等を活用した自助や分散避難を中心とした防災啓発：96 回
- ・学校園に対する防災講座等啓発活動：11 校園
- ・区役所職員等対象の訓練や研修の実施：5 回

令和6年度の主な取組

- ・LINE などの多様な手段を活用しながら、分散避難や備蓄の重要性等の啓発を強め、区全体の防災力向上を図る。
- ・災害時要支援者の個別避難計画を、地域・行政が一体となって作成することにより、区内の地域防災力向上を図る。



地域震災訓練
(避難所運営訓練)



中学校避難所運営訓練



中学校 HUG 訓練

【具体的取組 1－2－1】 防犯・安全対策

令和5年度の取組状況

【業績目標】

防犯対策をはじめ、安全で安心なまちづくりが進んでいると感じる区民の割合

(目標) (実績)

60%維持 → 79.3% (区民アンケート)

【取組実績】

- ・ 地域の見守り隊などと連携したあんパトによる地域巡回 (随時)
- ・ 就学前児童の防犯啓発、子ども防犯教室等の開催
- ・ 「安全・安心ミニフェスタ」の開催 (12/3)
- ・ 「安全・安心」啓発にかかる動画作成にかかる関係各所との調整
- ・ ひったくり防止キャンペーンの実施 (2回実施)
 - ひったくり防止カバーとワイヤー錠を配布
- ・ 自転車利用マナーアップ啓発 (毎月鶴橋駅前にて活動)
- ・ 自転車対策問題会議の開催 (2月に開催)
- ・ 交通安全ハザードマップ (交通事故発生場所) の作成 (令和4年度実績を反映)

令和6年度の主な取組

- ・ 特殊詐欺の被害防止のため青パトによる巡回啓発に加え、地域における高齢者向け啓発を継続強化するとともに、本市特殊詐欺対策機器貸与事業を推進する。
- ・ 子ども事案及び街頭犯罪の抑止に向けて、警察等関係機関との連携のもと、地域の自主防犯活動との連携による啓発活動を積極的に支援するとともに、防犯教室の開催や防犯灯の設置等、防犯対策を推進する。
- ・ 駅周辺については、歩行者や自転車が安全安心に通行ができるよう、放置自転車をはじめとした車道逆走、事故防止等に対する自転車利用のマナーアップ啓発など地域主導の活動を促進する啓発活動等に取り組む。



鶴橋駅での放置自転車・マナーアップキャンペーン



小学校での防犯教室



安全安心ミニフェスタ

課題2 教育・子育て環境の整備

【具体的取組2－1－1】 学校等との連携強化

令和5年度の取組状況

【業績目標】

学校が地域や区役所からの連携や支援を得られていると感じる学校関係者の割合

(目標) (実績)

60%以上 → 100% (学校関係者アンケート)

【取組実績】

- ・区長と学校長・幼稚園長との意見交換の実施：小学校 11 回 中学校 4 回 幼稚園 2 回
- ・教育行政連絡会の開催：小学校 3 回 中学校 3 回
- ・東成区教育会議の開催：2 回
- ・学校協議会への区職員の参加：56 回
- ・子どもの体力向上に向けた区長表彰数：のべ 67 名
- ・学校園等支援ボランティア募集件数：3 件
- ・民間事業者を活用した課外学習の取組：区内 3 中学校で実施（東陽中、本庄中、相生中）
- ・JICA 等と連携した子どもの国際理解を育む取組
 - 海外留学生による出前講座：5 校
 - 海外ボランティア経験者による出前講座：5 校
- ・平和学習の取組み（平和学習会の実施）：小学校（8 校） 中学校（4 校）
- ・子どもの人権意識を育む取組（人権映画会の開催）：204 名来場
- ・子どもの情報モラル等を育む取組（オンライン講演会の実施）：25 名参加

令和6年度の主な取組

- ・学校のニーズや地域特性を踏まえ、学校が必要とする支援を地域と連携して行うとともに、学校と地域とのつながりづくりを進める。



平和学習会の様子（中学校）



子どもの体力向上に向けた区長表彰の様子

令和5年度の取組状況

(目標)	(実績)
小学生：84%以上	→ 83.3%
中学生：78%以上	→ 受講者0名のため未測定

- ・区内2小学校において課外学習の場（学習支援、プログラミング、運動（バドミントン）、文化活動（将棋）、ダンス）を開講するべく、令和5年7月7日付で株式会社トライグループと協定を締結。
- ・学習支援は9月から開講できたものの、その他については受講生が集まらなかったため、開講に至らず。

- ・自信を失い不登校に陥ってしまった児童生徒が自信を取り戻し、不登校解消への新たな第一歩を踏み出すきっかけづくりに取り組む。また、本取組みを他の児童生徒に広げることで、増加傾向にある不登校の未然防止に取り組む。
- ・具体的には、児童生徒が、習い事等の活動を通じて自己肯定感を高め、「自分らしく生きる力」育むことができる「心の居場所づくり」に取り組む。

[illegible]

募集チラシ（小学生用）

東成区内在住の中学生対象

令和7年度奨学生募集中心(3月期募集)

グローバルエンジブ	文化芸術 (両国下町・両国駅周辺)
グローバルエンジブとグローバルエンジブ奨励金を併せて活用します。 資格： 日本中小学校 校種： 両国高岡台17300-11620 奨励金： 5,000円/月 定額： 30名(募集) 10名(から選別) ※入選した学生10名について東成区内の小・中学校に1名ずつ配付させていただきます。	両国文化芸術奨励金と一緒に活用します。 資格： 日本小・中学校 校種： 両国高岡台116330-11634 奨励金： 5,000円/月 定額： 30名(募集) 10名(から選別) ※入選した学生10名について東成区内の小・中学校に1名ずつ配付させていただきます。
奨励金 (両国高岡台・バリエーションセンター)	ダンス
両国高岡台バリエーションセンターの活動に活用します。 資格： 日本中小学校 校種： 両国高岡台17300-11620 奨励金： 5,000円/月 定額： 20名(募集) 10名(から選別) ※入選した学生10名について東成区内の小・中学校に1名ずつ配付させていただきます。	両国ダンス活動に活用します。 資格： 日本小・中学校 校種： 両国高岡台116330-11634 奨励金： 5,000円/月 定額： 20名(募集) 10名(から選別) ※入選した学生10名について東成区内の小・中学校に1名ずつ配付させていただきます。

※グローバルエンジブ、両国文化芸術、両国ダンスの4種を併せて活用することはできません。

・大企業、大団体の協賛が条件となり、必ずしも実現できず、実現できても奨励金減額です。

・協賛が条件のため、奨励金に不足分は学校費が必要となります。

※協賛が実現しない場合は、協賛金不足分は学校費で対応します。

両国・両国高岡台・両国文化芸術

株式会社ライブラリー(奨励金運営)

電話：0120-555-202

(10時～23時、土日・祝日も受付)

・ライブラリーは、両国文化芸術奨励金・両国高岡台バリエーションセンター・両国高岡台バリエーションセンターの活動に活用します。
 ・ライブラリーは、両国文化芸術奨励金・両国高岡台バリエーションセンター・両国高岡台バリエーションセンターの活動に活用します。

申込・申込書
 申込書



申込書
 申込書



両国文化芸術
 両国文化芸術

募集チラシ（中学生用）

【具体的取組 2－1－3】電子書籍を活用した子どもの読書活動推進

令和5年度取組状況

【業績目標】

本事業が児童生徒の読書習慣の定着に寄与したと感じる学校の割合

(目標)	(実績)
80%以上	→ 53.3% (学校関係者アンケート)

【取組実績】

- 区内小学5年生～中学3年生を対象に電子書籍利用IDの配付を実施。
 - 配付ID数：【中学生】1,496
【小学生】1,215
- 学校長との意見交換会を通じて事業周知を行うとともに、学校図書館司書と連携し、利用促進を行った。
 - 令和6年2月末利用率【中学生】：33.2%
【小学生】：52.7%

令和6年度の主な取組

- 区内の小・中学校等と連携し、児童生徒の読書活動を推進することにより、読書習慣の定着を図る。
- 具体的には、区内の小学校5～6年生の児童及び中学校の希望する生徒を対象に「電子書籍定額閲覧サービス」を導入し、児童生徒へ個別貸与している学習用端末を利用して電子書籍の閲覧を可能とすることで、読書活動を推進する。



電子書籍定額閲覧サービス「School e-Library」

【具体的取組 2－1－4】 子どもたちと体験する東成区のモノづくり（モノづくり教育）

令和5年度の実績状況

【業績目標】

「東成こどもモノづくり体験フェスタ」の参加人数

（目標） （実績）

500 名以上 → 664 名

「モノづくりに興味を持った」と感じた来場者の割合

（目標） （実績）

60%以上 → 95.3%（来場者アンケート）

【取組実績】

- 令和6年1月27日（土）10時から16時に東成区民センターで、「東成こどもモノづくり体験フェスタ」を開催した。
 - 17の企業・団体（区内企業・団体が14、市内企業が1、教育機関（工業高校）が1、市外団体が1）が体験ブースを出展。
 - 来場者アンケートでの、「イベントの満足度」は93.1%。
- 令和6年3月27日（水）、28日（木）に1コース1社として、A～Eコース、5社の工場見学会を実施した。
 - 見学先企業は、1月に開催した体験イベントへの出展企業5社に協力をいただいた。
 - 参加対象者は小学生及びその保護者とし、参加者は児童・保護者含め、2日間で延べ56名の参加があった。（参加応募は児童・保護者含め216名）

令和6年度の主な取組

- 児童生徒がモノづくり企業と触れ合う機会を提供し、モノづくりへの興味や関心を高めることで、将来の進路を考えるきっかけとする。
- 具体的には、児童生徒及び保護者が、工場見学会（オープンファクトリー）やモノづくり体験等を通じてモノづくり企業を身近に感じることができる「東成こどもモノづくり体験フェスタ」を開催する。



東成こどもモノづくり体験フェスタ



工場見学会 わが町工場みてみ隊

【具体的取組 2－2－1】 子育て支援ネットワークの強化

令和5年度取組状況

【業績目標】

「ひがしなりっ子すくすくつながる・クラブ」登録率の0～6歳の区民における割合
(目標) (実績)
50%以上 → 58.38%

【取組実績】

- ・「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」の登録者 2,204 人
 - 地域子育てサークル、子育てプラザなどの子育て支援拠点にて出張型登録相談会を実施
- ・子育て世帯と地域の子育て支援機関とのつながり作りのためのイベントを関係機関との連携により実施。
 - 「ひがしなりっ子すくすく・つながるフェア」：94 世帯参加
 - 「Web 版ひがしなりっ子すくすく・つながるフェア」ホームページ公開
 - 「ひがしなりっ子すくすく・つながる運動会」：52 組参加
 - 「すくすく・つながるスタンプラリー」：171 人参加
- ・子育て（支援）に関する情報発信ひがしなりだよりの他、SNS を活用した情報発信
 - Facebook：87 回
 - X（旧ツイッター）：35 回
 - メールマガジン：12 回
 - 子育て情報誌「ひがしなり子育て安心ブック」の作成・配付
 - 保育施設や子育て支援機関への配付及び周知（Web 版 QR コード）

令和6年度の主な取組

- ・「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」会員の拡大を図るため、登録申込機会の確保や地元協賛店舗等との連携の充実等、魅力の発信や効果的周知に取り組む。
- ・地域の子育て関係機関とのつながりづくりのためのイベントを関係機関との連携により実施する。
- ・子育て（支援）に関する情報発信（ホームページや SNS の活用等）や情報誌（子育て安心ブック）の発行に取り組む。



ひがしなりっ子・すくすく
つながるクラブ



ひがしなりっ子・すくすく
つながる運動会



ひがしなり子育て
安心ブック

課題3 地域における協働による保健・福祉への取組

【具体的取組3-1-1】地域全体で支え合う体制づくり

令和5年度の実績状況

【業績目標】

地域福祉活動サポーターによる要援護者への支援件数（訪問、相談等）

（目標）	（実績）
5,000 件以上	→ 6,554 件

【取組実績】

- ・在宅医療・介護連携の推進にかかる講演会・連絡会の開催：67 回
- ・地域の課題共有、解決検討の場の運営：22 回
- ・地域福祉に関する啓発の取組：3 回

令和6年度の主な取組

- ・在宅医療・介護連携の推進と地域包括ケアシステムの構築を進める。
- ・地域の身近な相談支援窓口を担う地域福祉活動サポーターを継続して配置し、要援護者への支援コーディネートや地域福祉活動の活性化を行う。また「おまもりネット事業」を活用した地域におけるつながりづくりを支援する。
- ・「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業（福祉局区 CM 事業）」と連携し、地域の見守り活動支援、及び要援護者の支援の充実を図る。
- ・地域活動者・関係機関が地域の課題を共有し、解決に向け検討を行う場を運営する。
- ・地域福祉に関する情報発信・啓発を行う。



おまもりネット出張相談会
（区内信用金庫にて）



おまもりネット手帳



多職種連携会 講演「障がい・認知症のある方への意思決定支援について」など



障がい理解のためのスポーツパネル展
（ボッチャ体験スペースを併設）

【具体的取組 3－2－1】 ライフステージに応じた健康づくり事業

令和5年度の取組状況

【業績目標】

身近な地域において、健康づくり（運動と栄養など）に関する啓発講座を実施

（目標）

（実績）

各校下（11校下）1回以上 → 各校下（11校下）2回以上実施

【取組実績】

- ・食生活推進員協議会と連携し区内中学生を対象に食育講座の実施：3回
- ・生活習慣病予防をテーマに健康教育を行うイベントを食育展と同時に開催
- ・「いきいき百歳体操」を、専門職や地域住民と連携して継続実施：21会場

令和6年度の主な取組

- ・若年層（小中学生）を対象に、健康づくりの基本となる食育に関する事業を実施する。
- ・壮年期～高齢期を対象に、生活習慣病予防をテーマに健康教育を行うイベントを食育展と同時に開催。また、地域で継続的に介護予防活動に取り組めるよう「いきいき百歳体操」を地域住民と連携し展開する。
- ・住民の身近な場所への健（検）診案内チラシの配架や、受診率アップキャンペーンを実施する。
- ・身近な地域で健康づくりに関する啓発講座を実施する。



中学生への食育講座



食育&健康セミナー

課題4 人生100年時代における区民主体のまちづくりの推進

【具体的取組4－1－1】 地域の実情に即したきめ細かな支援

令和5年度の取組状況

【業績目標】

地活協の構成団体が、地活協に対し地域の実情やニーズに即した支援が実施されていると思う割合

（目標）

（実績）

前年度実績値（86.3%）以上 → 94.8%（地活協構成団体アンケート）

【取組実績】

- ・区内企業やNPO法人、市民活動団体など、多種多様な関係先と地活協との連携を多数生み出すことにより、地域コミュニティの活性化や地域資源の発掘につなげた。
- ・第一層支援として、町会加入にかかる情報交換会の開催やチラシ作成、地活協独自の情報発信媒体の活用など、ニーズの掘り起こしから地域課題の解決まできめ細やかな支援を実施した。

令和6年度の主な取組

- ・地活協の役割・活動内容等の情報について、各地域の広報媒体や事業を活用し、積極的な情報発信を支援する。
- ・会計処理能力の強化、ICTの活用、自主財源獲得や企業等との連携など、各地活協の自律度やニーズに応じた支援のあり方について引き続き検討を進め、効果的かつ安定的な幅広い支援を実施していく。
- ・地域活動の継続・拡充のベースとなる環境づくりに向け、自治会・町内会単位（第一層）の活動の活性化に対する支援を行う。



企業連携による地域コミュニティ活性化
エッセイ募集



広報交流会の実施

【具体的取組 4－2－1】 地域・社会課題解決に取り組むための企業と地域・学校等による連携促進

令和5年度の取組状況

【業績目標】

SDGs の取組を通じて、区内の企業・地域・学校等の連携が広がっていると思う区民の割合

(目標)	(実績)
30%以上	→ 19.7% (区民アンケート)

SDGs の取組を通じて実施される、企業・地域・学校等の連携事例

(目標)	(実績)
3件	→ 3件

【取組実績】

- ・ひがしなりソケットが地域・社会課題解決の取組を推進するための事業への協力・広報の実施（5回）
- ・東成区 SDGs 宣言制度の広報、宣言のPR（令和6年3月末時点で140件の宣言を受付）
- ・東成区 SDGs 宣言をした事業者・団体等を対象にした研修会等を実施（2回）

令和6年度の主な取組

- ・区民主体のまちづくりを推進するため、大阪・関西万博や東成区制100周年などの機会も有効活用しながら、企業・団体・個人等の連携を促進する。



ひがしなりソケット主催 SDGs カード



東成区 SDGs ワークショップの実施



東成区 SDGs 宣言書